

プロジェクト名	カンボディア王国スバイリエン州スバイチュルン郡における持続可能な農業を通じた女性による農村開発プロジェクト		
実施期間	2003年7月1日～2006年6月30日 (3年間)	対象地域	スバイリエン州スバイチュルン郡 2地区 14村
実施機関	国際ボランティアセンター山形 (IVY)	ターゲットグループ	対象地域の女性・その他の住民

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
上位目標 女性組合が持続可能な農業を実践し、農村開発に積極的に取り組む	14村の女性組合全てがプロジェクト終了後も活動を継続している	プロジェクト終了後のモニタリング報告書	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農村・地方分権政策が変わらない ■ 他のNGOが方針を異にする活動を行わない
プロジェクト目標 1. ターゲット層の持続可能な農業に関する知識・技術が向上する 2. 女性組合の成立と運営により村人の情報・意見交換が盛んになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性組合員のうち60%がプロジェクト活動を通じて学んだ持続可能な農業技術を導入する 2. プロジェクト終了時に村の全世帯数の70%以上の女性が女性組合に組合員として参加している 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業調査 2. プロジェクト終了時戸別調査 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 天候が平年並みである ■ 農作物・家畜の病害虫が大発生しない ■ 他のNGOが方針を異にする活動を行わない ■ 治安状況が悪化しない
期待される成果 1. 村の女性が積極的にグループ活動に取り組む	<ol style="list-style-type: none"> 1. 村の全世帯数の30%以上の女性がPLAと女性グループワークショップに参加する 2. 村の全世帯数の60%以上の女性が女性グループに参加する 3. 女性グループのうち50%以上で活動の結果グループメンバーに現金収入がある 4. 女性グループのうち50%以上が4ヶ月以上活動を継続する 5. 全対象村で女性グループの活動成功例が他のグループに取り入れられる 6. 村の全世帯数の60%以上の女性が女性組合選挙に投票する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベースライン調査 2. 住民説明会、PLA、女性グループワークショップの結果 3. 女性グループモニタリング報告書 4. 女性組合選挙結果 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 天候が例年並である ■ 農作物の病害虫が大発生しない ■ 家畜の病害虫が大発生しない ■ 村人にグループ活動に対する拒否反応がない ■ 村人が多額の負債を持たない ■ 村人が長期滞村から不在でない
2. 地域に合った持続可能な農業を検討する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能な農業に関する実験計画が立案・実施され、実験結果が分析・報告される 2. 地域の持続可能な農業ベスト実践例と実践者が10以上記録される 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験農場報告書 2. 農業ベスト実践例ケーススタディー 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 女性が世帯内での農業活動に関して最低限の決定権を持つ
3. 村の女性の持続可能な農業に関する知識と技能が習得される	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各女性組合に農業学習会が設置される 2. 農業学習会に各女性グループから1人以上参加する 3. 農業学習会の定期勉強会が1年以上継続する 4. 女性グループ出身の普及ボランティアのうち、50%以上が、自分のグループで普及活動を行う 5. 各村で農業学習会のメンバーのうち1人以上が地域の持続可能な農業ベスト実践例を一部もしくは全部取り入れる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性組合モニタリング報告書 2. 農業学習会モニタリング報告書 3. トレーニング報告書 4. 女性組合員調査 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象地域周辺の産業構造に大きな変化がない ■ 他のNGOが方針を異にする活動を行わない ■ 村・地区の権威者・機関が女性グループや女性組合に対して支援的な態度を取らない ■ 「農業ベスト実践例」の実践者が協力的である
4. 村の女性が地域開発を自分の問題として考えるようになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性組合が農業以外の分野で独自の活動計画を立て、実践し、モニタリングする 2. 女性組合の活動が各村の非女性組合員の10%以上にメリットをもたらす 3. 女性組合と村長など村の権威者との定期的な情報交換が見られる 4. 女性組合が自己資金づくりをはじめめる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性組合モニタリング報告書 2. 女性組合中間・終了評価 	
活動内容	投入		前提条件
第1段階 0-1 基礎調査 0-2 住民説明会 0-3 PLA 0-4 女性グループ結成ワークショップ 1-1 第1、2回女性グループ集會 1-2 グループ月例会 1-3 貯蓄活動 1-4 リーダーワークショップ 1-5 農業基礎講座 1-6 情報交換の機会提供 2-1 試験農場での実験活動 2-2 持続可能な農業ベスト事例の調査と記録 2-3 農業調査	人材 プロジェクトマネージャー (1) プロジェクトコーディネーター (1) 農業マネージャー (1) シニア村落開発普及員 (2) 村落開発普及員 (地域開発会担当)(2) 村落開発普及員 (農業担当)(3) 家畜専門指導員 (非常勤) (1) 会計・庶務担当 (1) 運転手 (1) 国内事業担当 (1) 有機農業専門家 (1) プロジェクト運営費用/約5000万円 研修/スタッフ研修 スタディーツアー 施設/スバイリエンオフィス、プノンベンオフィス、試験農場 機材/車両 オートバイ 事務機器など 住民による投入/労働力・時間、資材、資金 (貯蓄) 州政府機関による投入/情報、交流の機会 他のNGOによる投入/情報、交流の機会		<ul style="list-style-type: none"> ■ 村人、村長、地区委員がプロジェクトに同意し協力的である ■ 郡・州レベルの政府機関がプロジェクトに合意し協力的である ■ 担当中央省庁がプロジェクトに合意し協力的である ■ IVYの国内支援者・会員がプロジェクトを支持する
第2段階 1-1 女性組合設立の呼び掛け 1-2 女性組合リーダー候補者選定 1-3 選挙委員会集會 1-4 女性組合リーダー選挙 1-5 女性組合リーダー集會 1-6 リーダーの能力開発 3-1 農業学習会 3-2 フィールド見学会 3-3 知識の共有			

4-1 女性組合の独自の活動 4-2 女性組合への物的援助 4-3 女性組合と村の有力者との協力関係構築 4-4 他の女性組合との交流 4-5 組合基金づくり		
5-1 中間評価 5-2 女性組合評価ワークショップ 5-3 終了時調査 5-4 終了時評価		